

千葉のポテンシャルを 生かすインフラ

～インフラのストック効果～

つくばエクスプレス
沿線整備

佐原の街並み

成田国際空港

印旛沼

屏風ヶ浦

幕張新都心

野菜王国ちば

京葉コンビナート

紹介事業

- 1 圏央道
- 2 東京外かく環状道路
- 3 東京湾アクアライン
- 4 館山自動車道・富津館山道路
- 5 北千葉道路
- 6 酒々井インターチェンジ
- 7 谷津船橋インターチェンジ
- 8 京成本線連続立体交差事業
- 9 道の駅
- 10 真間川の総合治水対策
- 11 南九十九里浜浸食対策
- 12 利根川矢口地区スーパー堤防
- 13 小野川放水路
- 14 船橋地区の高潮対策
- 15 館山港多目的観光棧橋
- 16 土地区画整理事業(柏北部中央)
- 17 県立柏の葉公園
- 18 江戸川左岸流域下水道

東京湾アクアライン

大山千枚田

房総の花畑

館山夕日棧橋

CHIBAちば



2019.7

Ver 1.3

千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

経済の「みち」 圏央道 ～「人」と「モノ」の流れがスムーズに～



- ▶千葉県内区間 約95kmのうち約8割が開通！
- ▶H29年の本県への観光入込客数は、統計開始以来最高を記録し、圏央道神崎・大栄間の沿線ではH26年に比べ約417万人増加！
- ▶高速バスの新規路線開設！運行本数は20便増加！
- ▶開通後（H25～H30）の本県への物流施設等の立地件数は開通前（H19～H24年）と比べ約2倍増加！
- ▶全線開通による更なる効果が期待されます

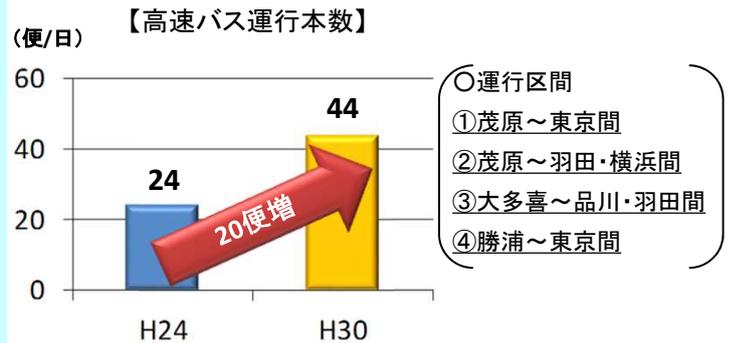
県内区間 約95kmのうち約8割が開通



充実する交通ネットワーク

高速バスの運行状況

- ・茂原駅～東京駅間、
- ・大多喜～品川駅・羽田空港間に新規路線開設
- ・高速バス運行本数が開通前と比較し20便増加

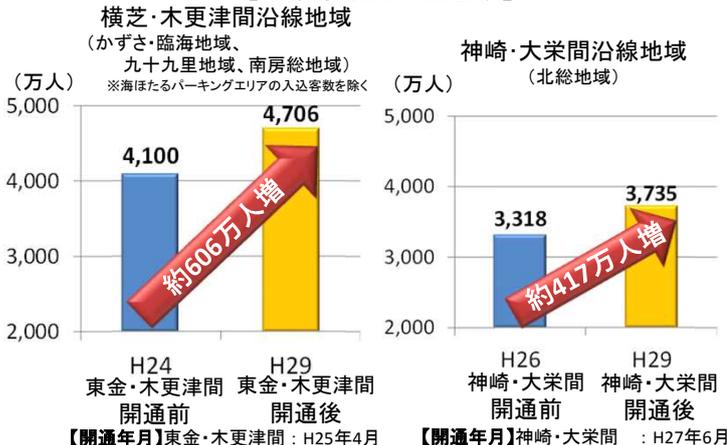


出典:千葉県道路計画課調べ
【開通年月】東金・木更津間: H25年4月

観光客の増加

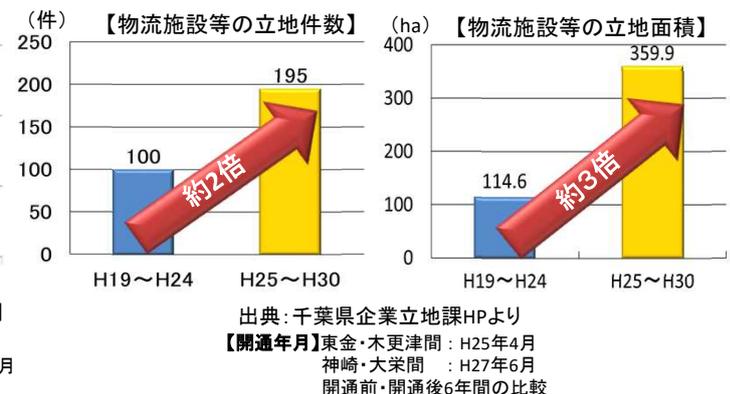
- H29年の本県の圏央道沿線地域では
- ・横芝・木更津間でH24年から約606万人増加
 - ・神崎・大栄間でH26年から約417万人増加

【千葉県観光入込客数】



企業立地が加速

- ・開通後(6年間)の県内への物流施設等の立地件数は195件で、開通前(6年間)と比較して約2倍に増加
- ・『茂原にいはる工業団地』(約19ha)と『袖ヶ浦椎の森工業団地』(約32ha)については、合わせて約98%が順調に売却又は落札 (H30年度末時点)

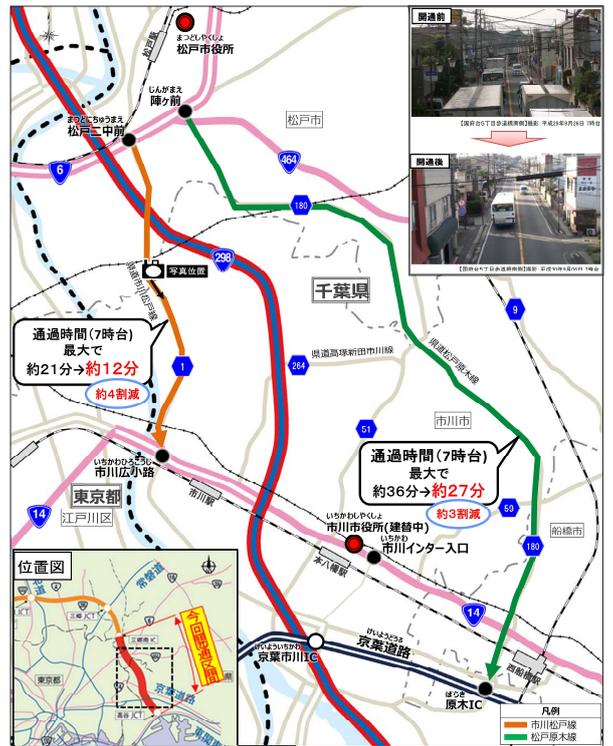


2 東京外かく環状道路（三郷南IC～高谷JCT）★ ～平成30年6月2日開通！！～



- 外環道経由への交通転換により、都心の渋滞が改善！
- 国道298号沿線地区における交通環境が改善！
- 千葉～埼玉のバスを運行している会社では、ルート変更に伴う時間短縮により増便が可能となり、利用者が2倍に増加！

開通の効果



出典：ETC2.0プローブデータ

- 外環道経由への交通転換により都心の渋滞が改善
埼玉～千葉間(東北道⇄東関東道)の交通は首都高を経由していたが、約8割が外環道へ転換
- 国道298号沿線地区における交通環境が改善
市川・松戸市内の主要な一般道路の交通量が約1割減少し、渋滞損失が約2割減少。



出典：国土交通省、東日本高速道路㈱、首都高速道路㈱記者発表資料より



小湊鐵道バス

千葉～
さいたま大宮線
(ちばたまライナー)

増便

4往復 → 6往復/日

所要時間

外環道経由になり

125分⇒90分(最短)

に短縮！！

バス事業者の声



ルート変更に伴う時間短縮により、同じ運転士の数で6往復できるようになり、利用者も約2倍に増えました。外環道(千葉区間)開通により、生産性向上につながりました。

<小湊鐵道バス>

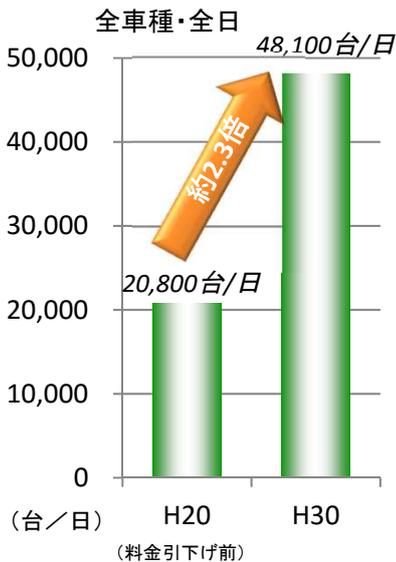
東京湾アクアラインが 新たなにぎわいを創出しています！



- 料金800円への引下げにより、ストック効果がより大きく発現！
- 料金引下げ後、交通量は約2.3倍に増加
- 国内最大級の大型商業施設の増床で更なる雇用を創出
- 着岸地周辺の主な入込数が増加
(海ほたるPA 約1.1倍 東京ドイツ村 約2.0倍)
- 着岸地では人口が増加し、木更津市には33年ぶりに小学校が開校
(木更津市 約8.5%増加 袖ヶ浦市 約5.0%増加)
- 首都圏全体の経済波及効果は、約1,155億円 (H26.4~H28.9)

地域の活性化

アクアラインの交通量



出典：NEXCO東日本ホームページ

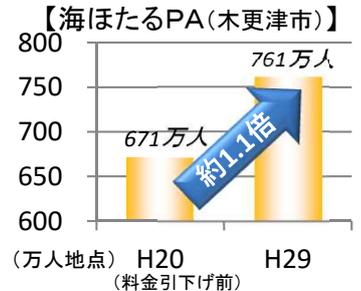
大型商業施設の進出

- 三井アウトレットパーク木更津
H24.4.13 グランドオープン
(175店舗が営業)
- H26.7.17 スケールアップオープン
(さらに73店舗が営業)
- H30.10.26 スケールアップオープン
(さらに63店舗が営業)

- イオンモール木更津
H26.10.18 グランドオープン
(160店舗が営業)

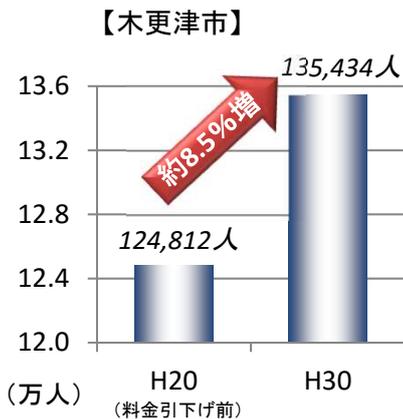
さらに、
西側地区においては、
新たに2件の
商業施設の出店が計画！

観光地の入込状況

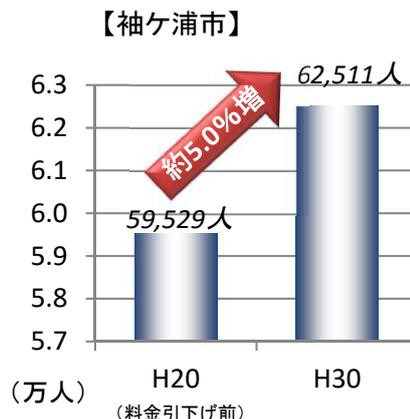


人口の増加

人口の推移



出典：木更津市統計書



出典：袖ヶ浦市人口統計

新たな小学校の開校

平成26年4月1日
真舟小学校 開校



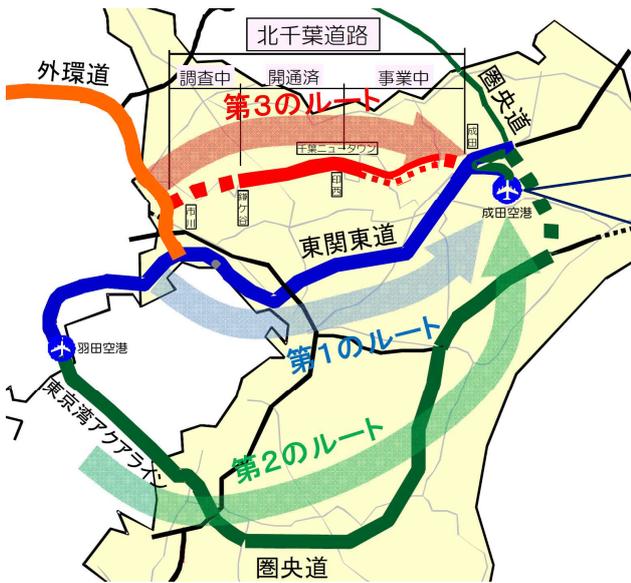
写真提供：木更津市

首都圏と世界をつなぐ第3のルート 一般国道464号北千葉道路が必要です



- ▶北千葉道路は、沿道地域の慢性的な交通混雑などの課題を解決し、外環道と成田空港を最短で結ぶ首都圏の国際競争力を強化する道路
- ▶将来の北千葉道路の全線開通を見据え、沿線には続々と企業が進出！

整備の必要性



成田空港の機能強化

発着回数50万回へ更なる強化。

第3旅客ターミナル外観 平成27年4月8日供用



市川市から成田空港までの距離



国道464号周辺の主要渋滞箇所



出典：首都圏渋滞ボトルネック対策協議会資料(H25.1)から作成

ストック効果

大型店舗・物流基地続々進出！

千葉ニュータウンでは大型物流施設建設中！



提供：グッドマンジャパン株式会社 (H31.3)

千葉NT周辺地域への物流施設
立地件数



千葉NT周辺地域への物流施設
立地面積

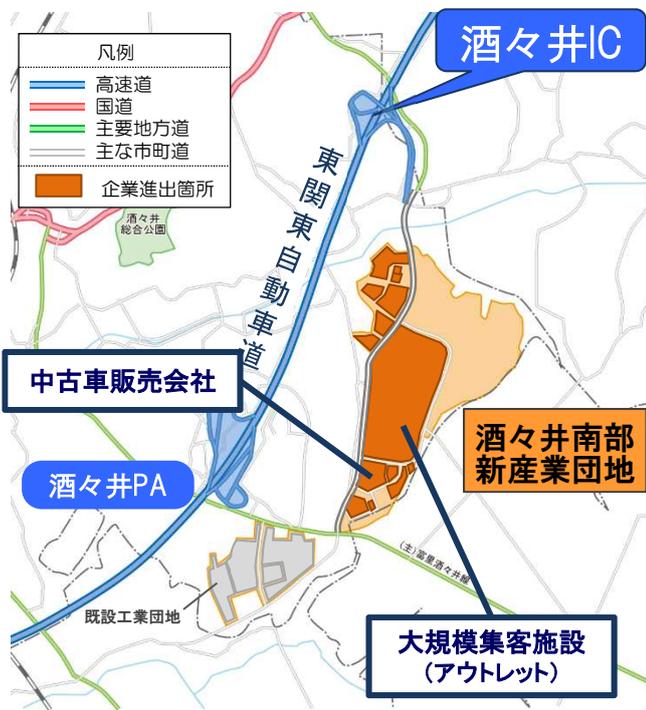


平成24年北千葉道路開通(白井市谷田~印西市若葦)
開通前・開通後7年間の比較

酒々井インターチェンジが 新たな「雇用」と「交流」を創出



- H25.4月 県は地域活性化IC制度を活用して酒々井ICを設置
- IC新設と併せて整備された**新産業団地**には、**続々と企業が進出**
(H3 1.4月末現在 **進出企業18社**)
- 大規模集客施設の立地で**約2,300人の雇用を創出**
- IC開通により交流人口が増大
 - ・ IC利用交通量はその後も経年的に増加傾向が続く
 - ・ 大規模集客施設は**年間約680万人※が来場** ※H30年度レジャー客数

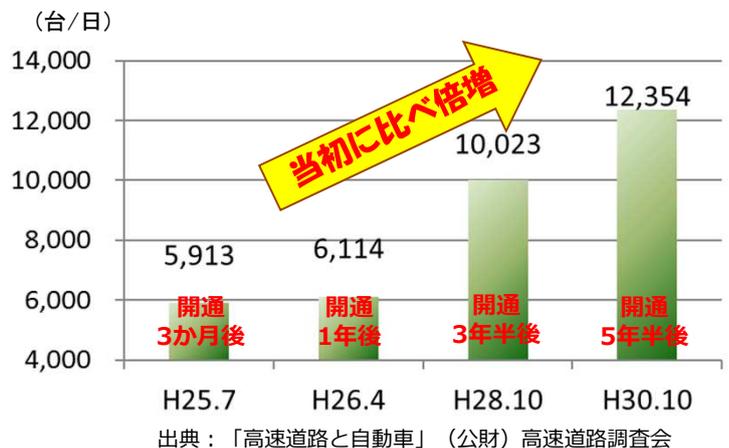


酒々井プレミアム・アウトレット

- H25.4.19 **新規オープン!** ➢ 現在213店舗が営業中
- H27.4.17 **第Ⅱ期 増床** ➢ 年間680万人が来場 (H30年度レジャー客数)
- H30.9.28 第Ⅲ期 増床**
 - 第Ⅰ期 約1,300人雇用
 - 第Ⅱ期 増床 更に約700人雇用
 - **第Ⅲ期 増床 更に約300人雇用**



酒々井インターチェンジ利用交通量



酒々井南部新産業団地

進出企業 18社 (H31.4月末現在)

酒々井インターチェンジ概要

- 【整備手法】 地域活性化インターチェンジ制度
- 【事業主体】 千葉県
- 【事業期間】 H17～H24年度
H25.4.10 開通
- 【目的】 高速道路へのアクセス向上、
地域経済活性化 など

酒々井インターチェンジ



谷津船橋インターチェンジで 地域が活性化しています!



- H25.9月 県は地域活性化IC制度を活用して谷津船橋ICを設置
- IC新設後、**大型物流施設の進出** (H28.10月竣工)
- **大型商業施設のオープンやリニューアル**が進む
- ICに近接する千葉県立幕張海浜公園が、
JFA夢フィールドとして建設が進められている (H30.10月~)
- IC開通により交流人口が増大
 - ・ IC利用交通量は開通直後に比べ2倍以上。

ららぽーとTOKYO-BAY
リニューアルオープン(H25.11月)



イオンモール幕張新都心
オープン(H25.12月)



三井不動産ロジスティクスパーク船橋 I
(H28.10竣工)
延床面積約20万㎡の大型物流施設



プロロジスパーク習志野4(大型物流施設)
(H25.8月竣工)



JFA夢フィールド

本格的な建設工事着手 (H30.10月)
R元年12月完成予定(予定)
R2年3月の運用開始(予定)



谷津船橋IC出入交通量の推移



出典: 「高速道路と自動車」 (公財) 高速道路調査会

谷津船橋インターチェンジ概要

- 【整備手法】 地域活性化インターチェンジ 制度
- 【事業主体】 千葉県
- 【事業期間】 H18~H25年度
H25.9.20 開通
- 【目的】 周辺地域の利便性向上、
地域経済活性化 など

船橋駅周辺は、連続立体交差事業で、「安全」・「スムーズ」な街に！



- ▶ 船橋市内中心部を南北に分断していた京成本線を高架化(H18年度)
- ▶ 踏切の除去により、都市機能が充実
 - ・ 駅利用者の**安全性・快適性が向上(踏切事故の解消)**
 - ・ 駅周辺交通の円滑化により**駅へのアクセス向上(遮断時間解消)**

線路が、街を分断



人・車の流れがスムーズに

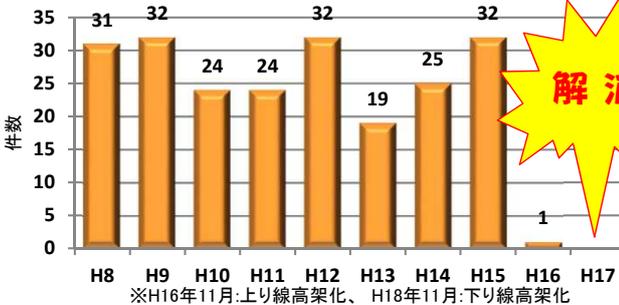


踏切事故
年平均 22件 → **0件**

踏切遮断
日平均 7時間 → **0分**

安全

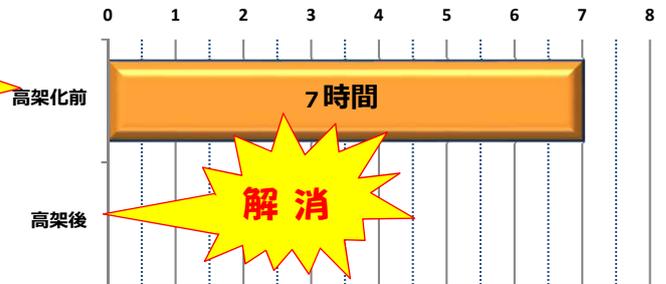
踏切事故件数の推移



解消

スムーズ

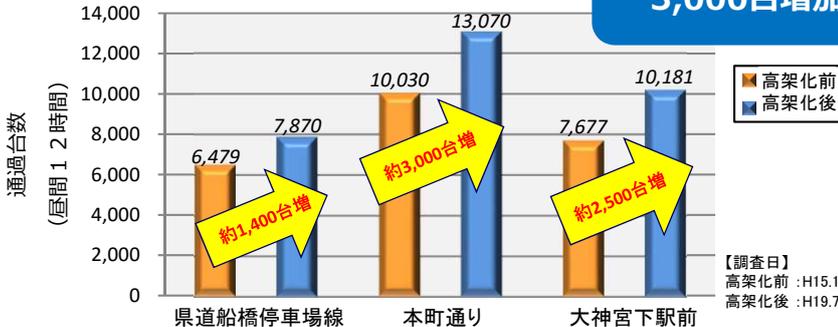
踏切遮断時間(24時間)



解消

利用拡大

京成高架化による自動車交通量の推移



通過交通量
3,000台増加

京成本線連続立体交差事業

事業区間: 2,470m
事業期間: S58~H22年度
除却踏切: 16箇所
高架された駅: 京成船橋駅、大神宮下駅



船橋駅周辺は、JR総武線・京成本線・東武野田線の鉄道3路線が乗り入れており、1日平均乗降客数は約47万人
さらに10路線34系統のバスルートをもつ県内有数の交通ターミナルです

地方創生の核となる「ちばの道の駅」 ～活力を生み、雇用を創出、地域の好循環へ～

県内全域！

- ▶千葉県内の「道の駅」は29駅（H31.4時点）
- ▶地域の個性、魅力を活かした取組により、**県内「道の駅」の利用者は約1,316万人！売上増加！**（H30年度119億円（H22年度比5割増））
- ▶「道の駅」は**雇用を創出し、地域の活力を生んでいる！**

「道の駅」での雇用者	900人超！	
地元生産者	4,500者超！	
地元企業の参入	1,200社超！	（H30年度）
- ▶**全国モデルに1駅、重点に4駅、重点候補に1駅 選定され、ますます発展しています！**

県内「道の駅」総利用者数



県内「道の駅」総売上額



全国モデルに1駅、重点に4駅、重点候補に1駅選定！

①全国モデル「とみうら」



地場産のびわを活用した オリジナルブランド商品！

- ・道の駅にて一次加工処理をして地場産のびわを原料としたオリジナルブランド商品開発！
- ・40アイテムを超えるびわ関連のオリジナル商品を生み出す！

②重点「つどいの郷むつざわ」



健康支援型の道の駅！

- ・先進予防型のまちづくりの中核拠点となる、「健康支援型の道の駅」がテーマ！
- ・健康づくりと地域活性化を一体的に行う地方創生の拠点！
- ・令和元年9月 リニューアルオープン！

③重点「発酵の里こうざき」



全国で唯一の「発酵」を テーマとした道の駅！

- ・地元はもちろんのこと、全国の発酵食品も取り揃えた発酵食品の専門店！
- ・地元産業の振興による雇用の創出、伝統や技術の継承！

④重点「季楽里あさひ」



食の郷あさひをPR！

- ・地元食材、市のキャラクターを活用した商品開発による新ブランド創出！
- ・情報発信拠点である道の駅での展示・販売により販路拡大・知名度アップ！
- ・地元高校生との連携、屋外ステージ等におけるイベント開催による交流創出！

⑤重点「しょうなん」



都市部と農村部とを繋ぐ エントランスパーク(入口)！

- ・平成30年度重点「道の駅」選定！
- ・「道の駅」を拡張中！
- ・地域の主要産業である農業を振興させる機能を強化！
- ・来訪者の地域交流を促進する機能の強化！

⑥重点候補「保田小学校」



閉校となった小学校を活用！

- ・町民の多様な経済活動のステージ！
- ・自然、文化、歴史など町の観光や食の情報などを発信！
- ・都市と農山漁村の交流活性化の拠点！

※ETC2.0限定一時退出対象施設（鋸南保田ICより）

10 真間川改修の進捗に伴い、かつての水害常襲地帯が「安全で安心できる街」に

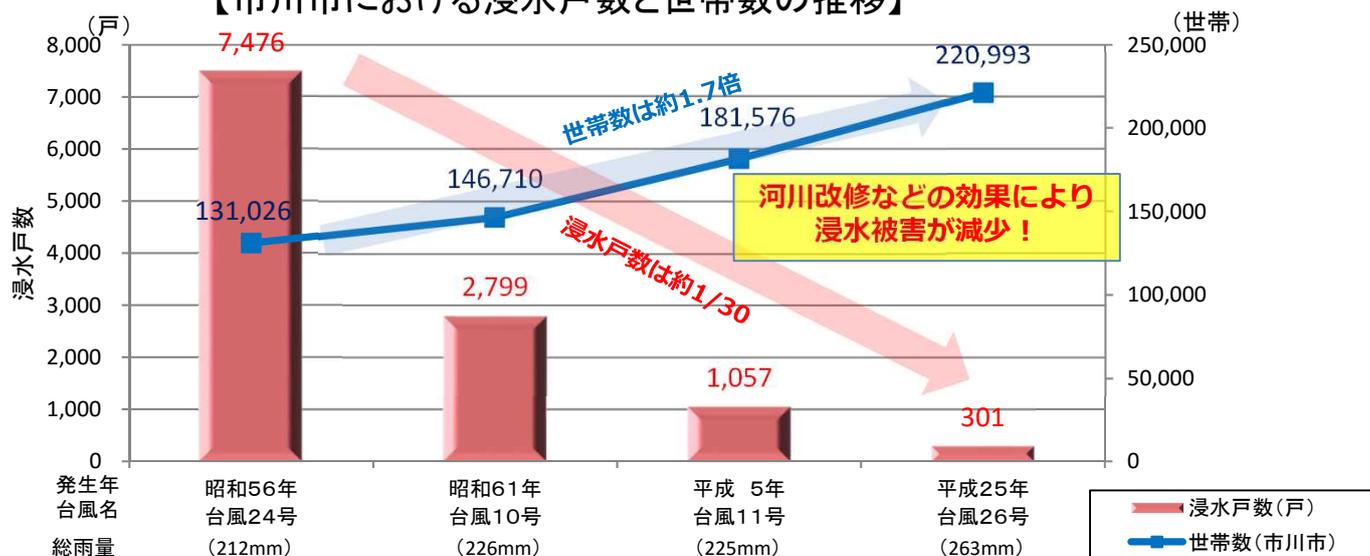


- 真間川流域では、高度経済成長期に市街化が急速に進み、保水機能が低下し、**大規模な浸水被害が多発**
- S54から総合治水対策事業で河道改修などを実施
- 市川市の世帯数は、約1.7倍に増加したが「S56年水害と同程度の雨量」でも**30年前に比べ浸水戸数は約 1/30へと減少!**



大規模な浸水被害が多発!

【市川市における浸水戸数と世帯数の推移】



真間川の総合治水対策

【事業名】 総合治水対策特定河川事業 【事業期間】 S54～現在事業中

【整備目標】 雨量50mm/時(年超過確率1/7.5)

【整備方針】 治水施設の整備推進、保水・遊水機能(貯留施設等)の維持・増進

南九十九里浜侵食対策の進捗に伴って 砂浜が回復し「海水浴客のにぎわう浜」へ

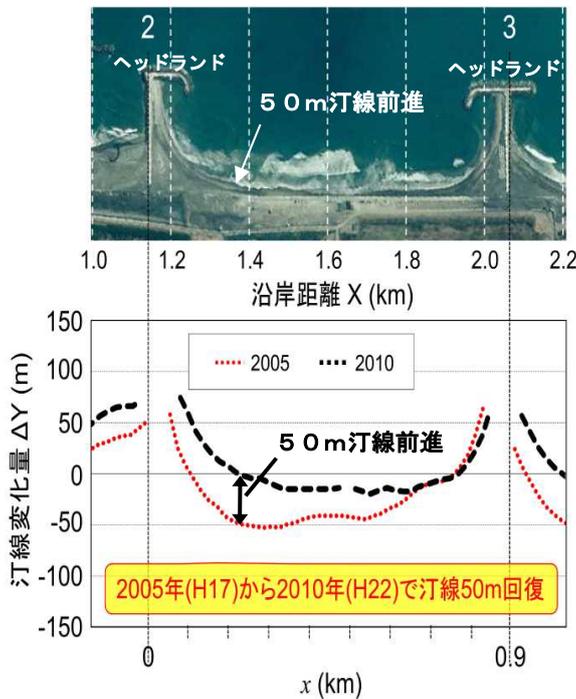


- S 40年代半ば以降、汀線が20～70m後退
- S 58年度から侵食対策事業として、ヘッドランド・養浜工を実施
- 一宮海岸では、砂浜が最大50m回復し、防護機能の回復と併せて、海水浴客数は、震災以前より約1.5倍に増加！



ヘッドランド・養浜工を実施

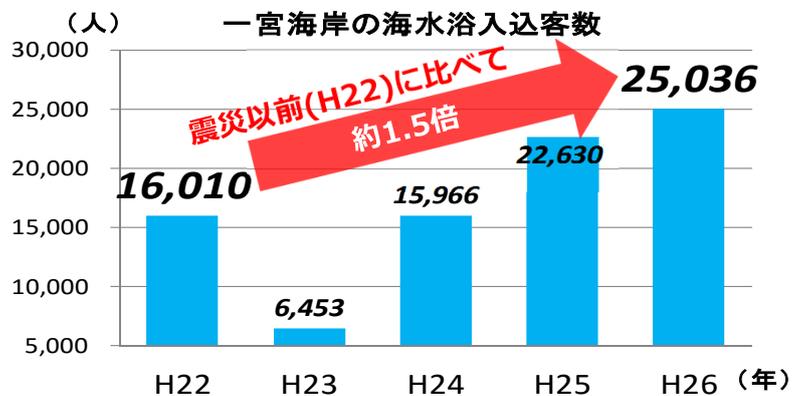
事業効果で汀線が前進、砂浜が回復



砂浜回復



砂浜の回復にあわせ、海水浴入込客数が増加傾向



南九十九里浜の侵食対策事業

【事業名】侵食対策事業

【事業期間】S58～現在事業中

【整備目標】砂浜幅40mの回復

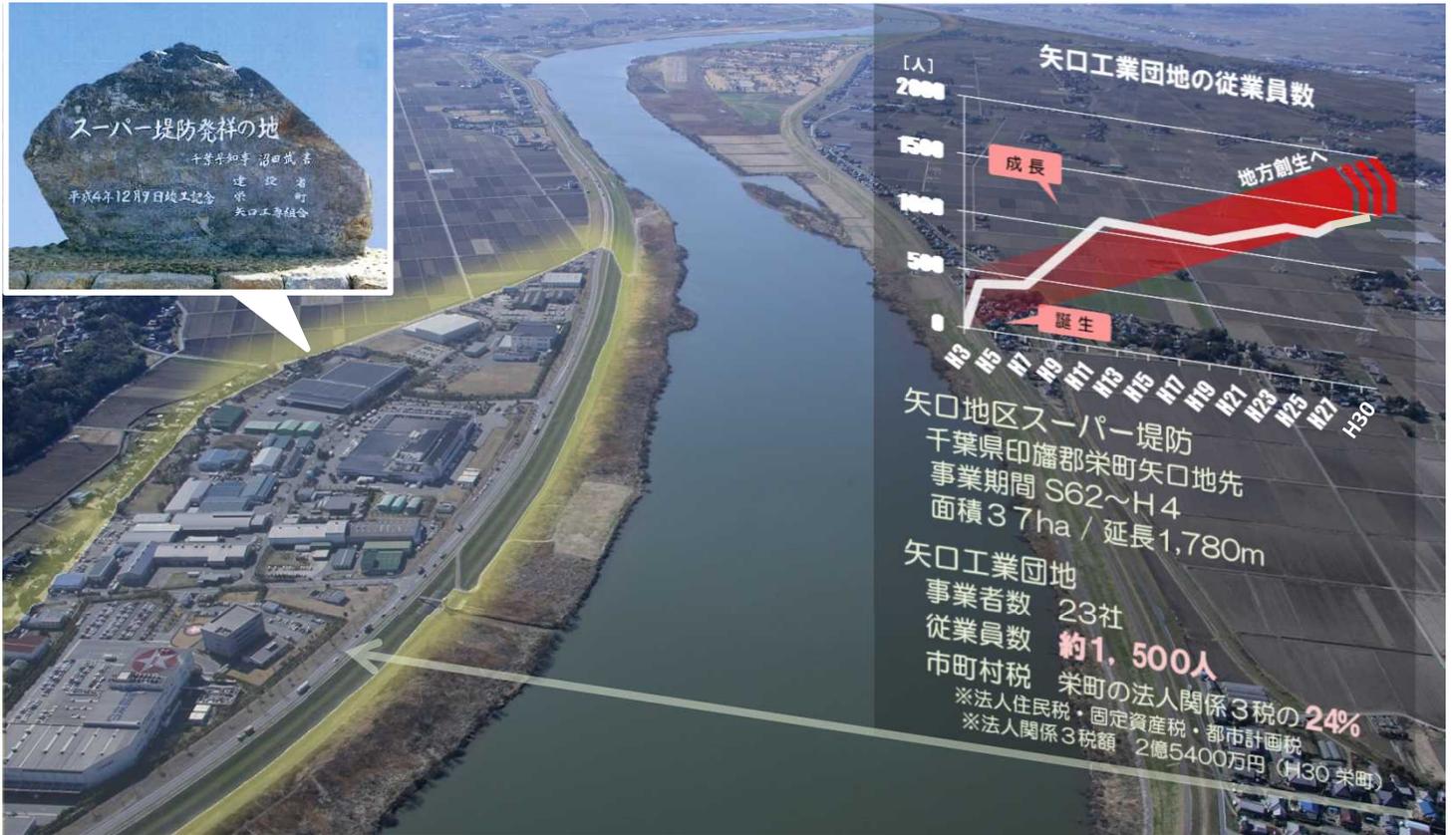
【整備計画】ヘッドランド10基、養浜工、離岸堤、小突堤

スーパー堤防発祥の地が地方創生の舞台に

利根川^{やごう}矢口地区スーパー堤防



- 我が国初のスーパー堤防...矢口地区スーパー堤防は全国に先駆けH4年に完成
- 地域の雇用を創出...堤防上には23社の企業が進出し、約1500人の雇用を創出
- そして地方創生へ...進出企業の要望も受け、地元栄町では拡張を計画中



スーパー堤防が守る安全・安心

日本最大の流域面積を誇る利根川は、水害の規模も桁はずれで、S22のカスリーン台風では、堤防の決壊により**床上浸水10万戸以上の激甚な被害が生じた。**

破堤による大規模災害

- S22 カスリーン台風
- 死者:78名
- 床上浸水:10万戸以上

流域の人口・資産が激増

- 戦後から25年で倍増
- S30 流域内人口 約630万人
- S55 流域内人口 約1000万人

破堤リスクの極めて低いスーパー堤防整備



地域に活気をもたらす存在に

栄町では民間企業と連携し工業団地の拡張を進めており、「栄町第5次総合計画」ではチャレンジ戦略として位置付けられている。

さらなる雇用を創出し

地域を元気に！



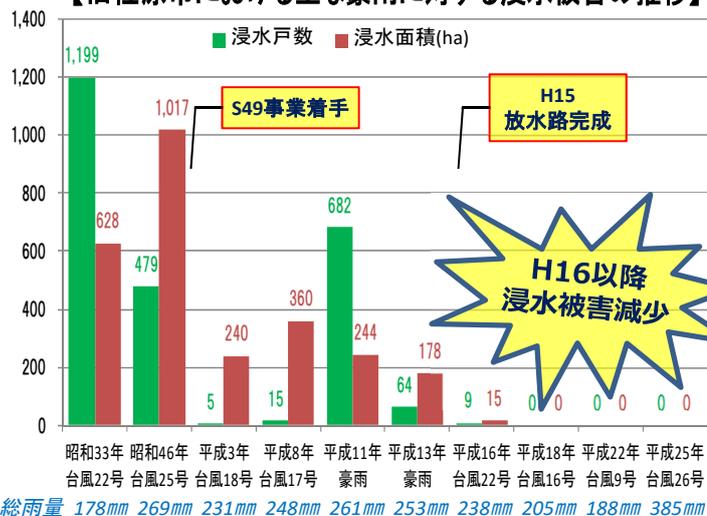
小野川放水路の完成が、小江戸さわらの町並みを洪水から守り、観光の名所に



- ▶旧佐原市(香取市佐原)は、S33年の狩野川台風やS46年、H11年の集中豪雨などの度、小野川が氾濫し、市街地の浸水被害を受けてきた
- ▶市街地を浸水被害から守るため、S49年度から放水路の建設が着手された
- ▶30年の歳月をかけH15年度小野川放水路は完成し、以降、被害は大幅に減少
- ▶放水路により守られる市街地では、小野川とその沿川の町並みがH8年度重要伝統的建造物群保存地区に指定され、多くの観光客が訪れる名所となっている



【旧佐原市における主な豪雨に対する浸水被害の推移】



小野川放水路建設事業

【事業名】 中小河川改修(大規模)事業 【事業期間】 S49~H15年度

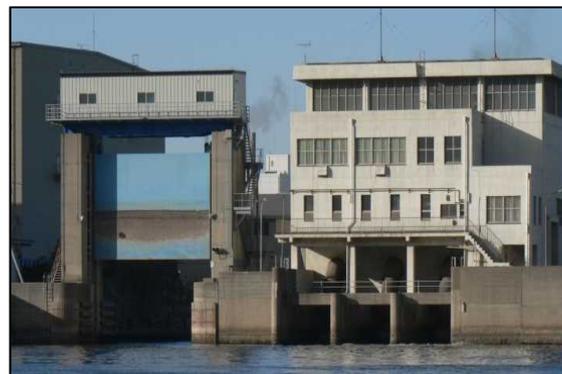
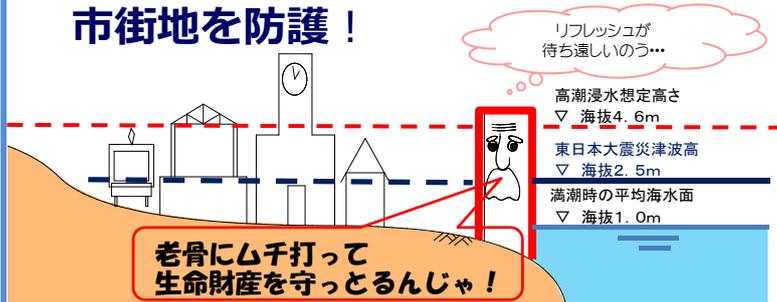
【整備目標】 雨量68.4mm/時(年超過確率1/30)

【整備方針】 治水施設の整備、町並み景観の保全、上面利用の推進(街路整備)

千葉港海岸船橋地区の海岸保全施設が重要な都市機能を高潮・津波から防護！

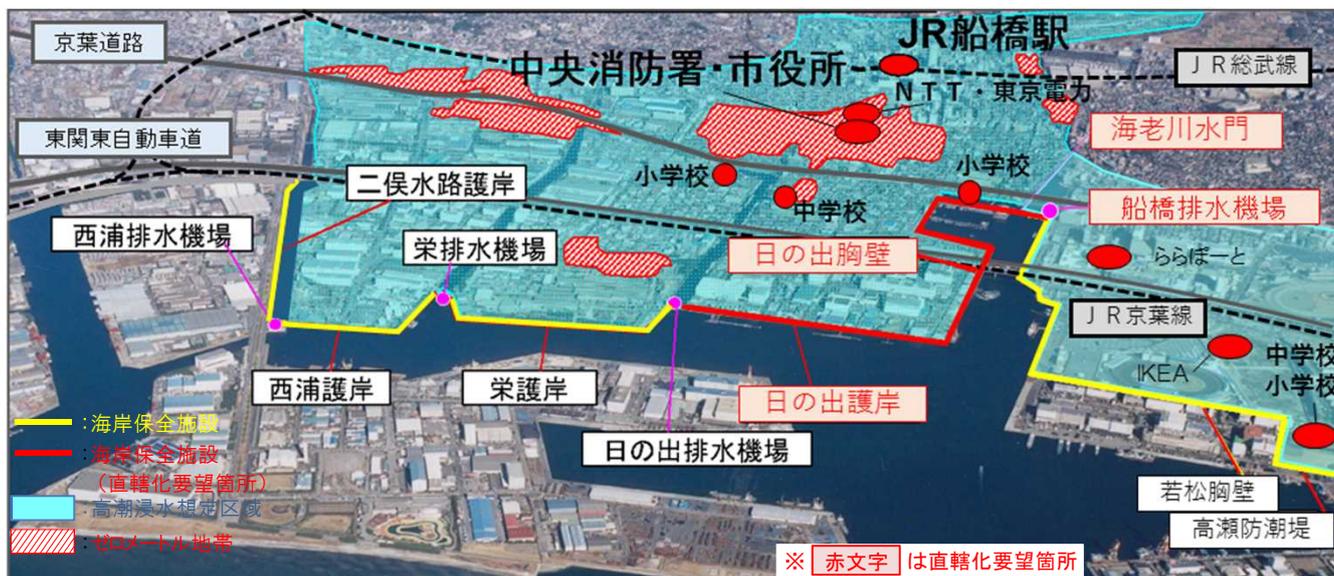


- ▶ 海岸堤防などの防護施設は、**S40年代に整備されて以降**、これまでに台風などによる**高潮からの浸水被害防止**に貢献
- ▶ 船橋地区の海岸防護施設は、ゼロメートル地帯を抱える船橋中心市街地の人口約**4.4万人**、家屋約**1万棟**など地域の生命財産を守る重要な社会インフラ
- ▶ **東北地方太平洋沖地震の津波からも市街地を防護！**



S47年に建設された栄水門、栄排水機場

高潮浸水想定区域内には駅・市役所・消防署・電力会社・NTT・緊急輸送道路などの重要な施設が密集！！



一方で、**施設の老朽化が大きな課題**
首都直下地震などで施設が損傷した場合には、**大規模な被害**が想定される・・・！！

こうならないように・・・

船橋地区の高潮対策

事業名：千葉港海岸船橋地区高潮対策事業
事業期間：H8年～R13年
整備内容：海岸保全施設（護岸、水門、排水機場）の耐震対策、老朽化対策
※船橋排水機場、海老川水門、日の出護岸などを直轄化要望中

- ・ 護岸の耐震補強、液状化対策を実施しています
- ・ 老朽化した水門・排水機場の大規模な更新を早期事業化することが重要です

館山港多目的観光棧橋の整備で 地域が活性化しています！



- 房総地域の観光振興の要として多目的観光棧橋を整備（H22.4月）
- 棧橋整備後、観光旅客船の寄港数が約3倍に増加！
- 利便性向上により季節航路の利用客数が約20%増加！
- 交流拠点 みなとオアシス“渚の駅”たてやま がオープン
- 棧橋周辺では多くのイベントが開催され参加者が増加！

観光旅客船の寄港



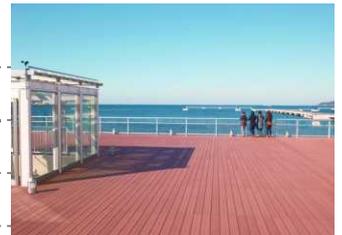
季節航路の運航

物流岸壁を使用し運航していた季節航路が、棧橋整備後に着岸を棧橋へ移動し利便性が向上



“渚の駅”たてやま

交流拠点施設の来訪者は年々増加



館山湾を一望できる展望デッキ



地元で採れた新鮮な野菜や魚介類の直売店「海のマルシェたてやま!!」

イベント参加者が増加

○たてやま海まちフェスタ

多くの人々が、海や船に触れ、“海の魅力”を満喫できる
約3千人(H21) ⇒ 約12千人(H29) (約4倍)

○館山若潮マラソン

コースからは館山港や多目的観光棧橋を見渡せる
約4千人(H19) ⇒ 約17千人(H29) (約4倍)

他にも、花火大会、ビーチスポーツ大会など多数のイベントを開催



館山港多目的観光棧橋 概要

- 事業名: 港整備交付金
- 事業期間: H18年度～H21年度
- 整備内容: -7.5m棧橋 (L=240m) 1基
- 道路棧橋 L=400m
- 3.0m棧橋 (L=20m) 1基

土地区画整理事業により、 未来のまちづくりを柏の葉から



- 公・民・学が連携し、世界の都市未来像を発信する
先導的プロジェクト（AIセンター等）が進行中！
- 柏の葉アクアテラスが「2018年度グッドデザイン賞」受賞！
- 柏北部中央地区内人口は約14.7倍(H19→H30)に増加！

公・民・学連携のまちづくりが「柏の葉」で進行中！

地区内の人口が増加中！

調整池を親水交流空間へ“柏の葉アクアテラス”



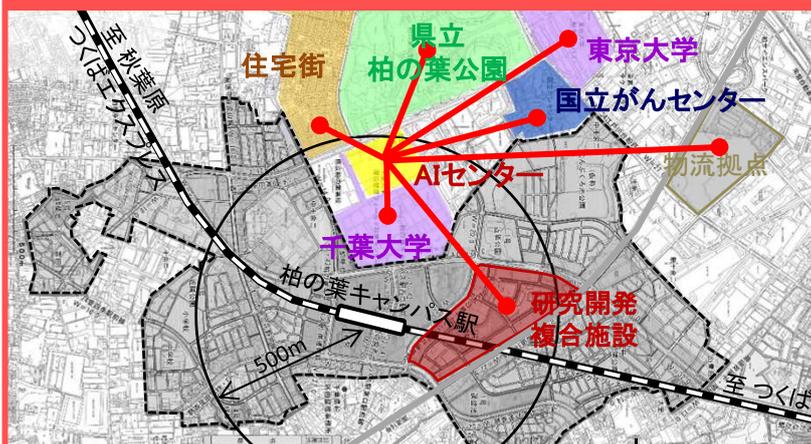
地域住民や就業者の「交流空間」創出による活性化

◆ 柏北部中央地区内人口の推移



AIセンターと連携した創造的な産業空間の醸成

■ 地区内子育て世代(20代～40代)の推移



先端企業・研究機関の集積等により雇用創出

柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業

事業計画認可	H12. 8. 25
施行者	千葉県
施行面積	272.9ha
計画人口	26,000人
施行期間	H12年度～R4年度

周辺の大学等との連携を図れるような未来のまちづくりのための基盤整備を行いつつ、既存の緑を保全しながら鉄道と一体的な整備を推進



航空写真提供：三井不動産株

県立柏の葉公園は健康づくりの場所を提供しています！



- 県立柏の葉公園は、野球場、競技場、庭球場等の運動施設が充実し、施設の年間利用者数は約150万人
- 高校野球大会やプロ興行等スポーツイベントも開催され、公園利用者が増加
- 平成28年度は緑化推進活動でもある全国みどりの愛護のつどいの開催地に

公園利用者数の増加

- ◆ スポーツイベントの開催や自主事業の実施で公園利用者が平成23年度から約1.5倍に増加

【入込客数（延べ人数）】



にぎわいの創出

- ◆ 運動施設を活用したスポーツイベント
 - ・ 野球場では、年間約80日の大会やプロ興行等を開催
 - ・ 総合競技場では、ラグビーのトップリーグ試合をはじめ、地域や学校の体育等で幅広く利用



- ◆ 指定管理者による自主事業
 - ・ 自主事業による各種イベントの開催により、利用者サービスが向上



- 【主な自主事業】
- ・ フリーマーケット
 - ・ 各種スポーツ教室
 - ・ ウォーキング大会

平成30年度はおよそ60種の自主事業を実施

第27回全国みどりの愛護のつどい



- 【概要】
- ・ 式典
 - ・ 18本のカツザケの記念植樹
 - ・ 皇太子殿下(当時)のおことば

【記念植樹】平成28年6月12日

県立柏の葉公園

開園年月日：H2年7月20日 所在地：千葉県柏市柏の葉
 供用面積：45.0ヘクタール 公園種別：広域公園
 主要施設：体育館、植物園、日本庭園、総合競技場
 庭球場、野球場、複合遊具



千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」



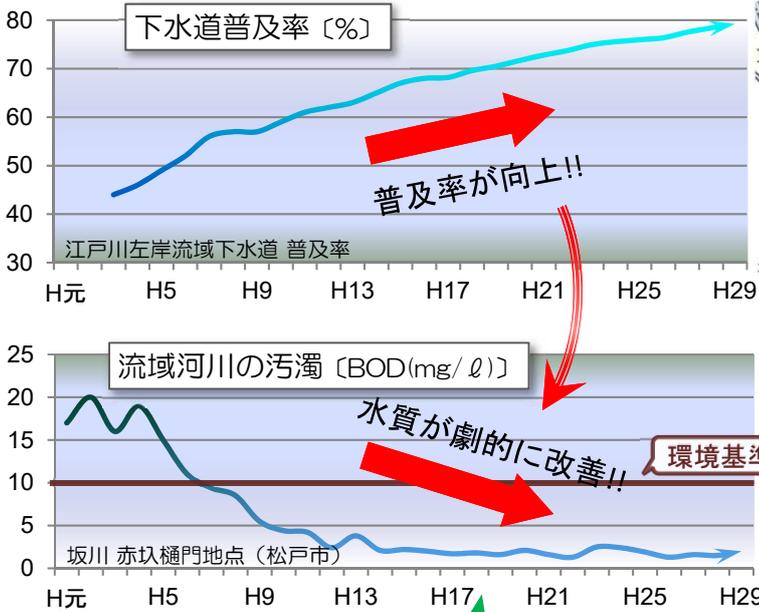
江戸川左岸流域下水道事業により 都市の快適な環境を創成しています



- ▶ 下水道の整備で流域河川などの水質は劇的に改善！
- ▶ 市川市の住宅密集地に建設された江戸川第二終末処理場の上部は
広大な公園に！ 処理場の広場利用者は年間9万人！！

(東京ドーム約2個分)

(平成30年度 スポーツ広場利用者数)



江戸川左岸流域下水道計画の全体図



年間9万人!



新たに“江戸川第一終末処理場”の建設を推進！

江戸川第一終末処理場計画地

平成31年1月撮影

人口が集中する都市部における下水道未普及地域の早期解消のため、新たな終末処理場を建設しています。

～ 江戸川左岸流域下水道 ～

事業主体：千葉県
 供用開始：S56年4月
 処理範囲：8市、10,894ha (H30.3現在)
 処理人口：1,167,025人 (H30.3現在)

社会資本の効果は、フロー効果とストック効果

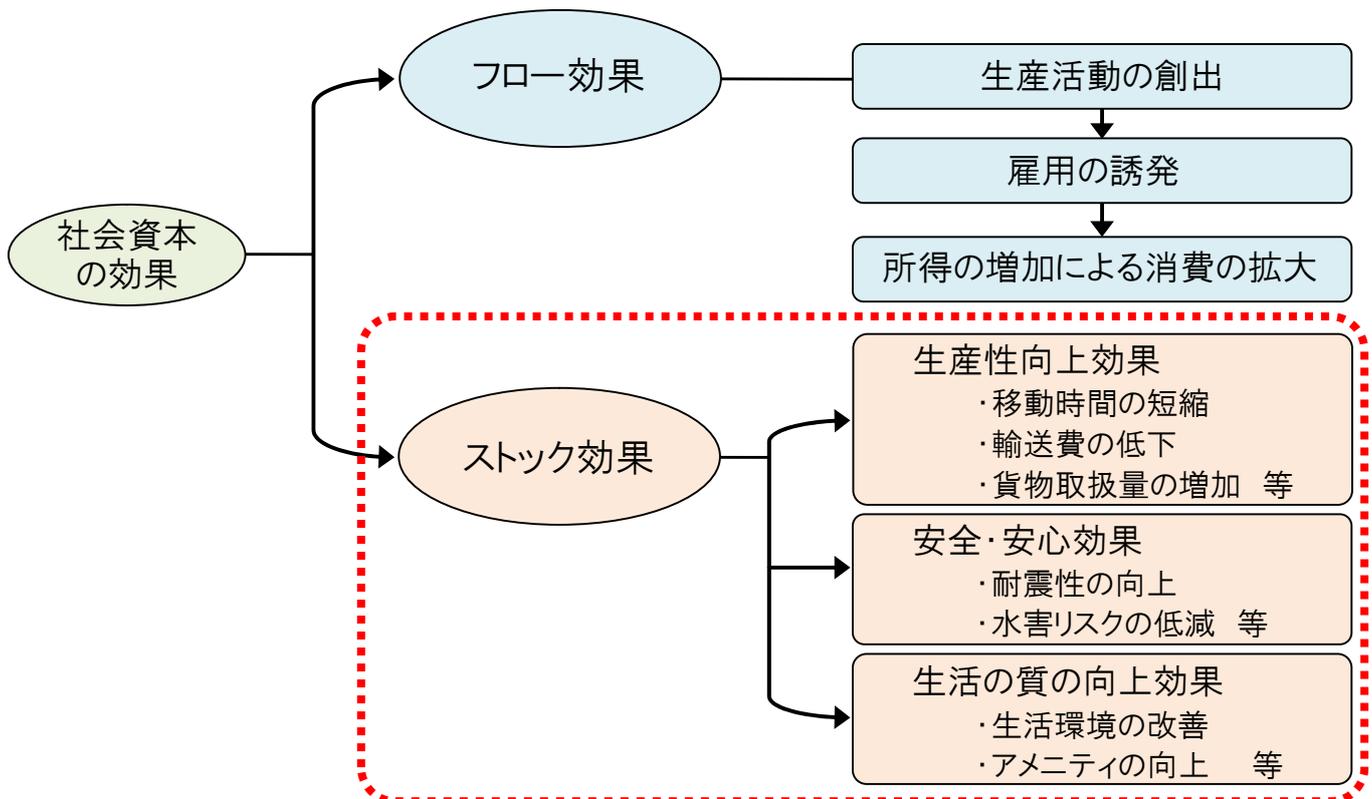
～インフラ整備の本質、ストック効果に着目してください～

フロー効果

整備のために投資が行われる期間中、建設業や資材業など工事に
関連する産業の生産活動が高まる等、**短期的に需要創出の経済効果**
が生まれること

ストック効果

整備された施設が供用されることで、その**地域の生産性を向上させる**
効果や、**安全性・快適性を高め、衛生環境を改善するなど生活の質を**
向上させる効果を長期的に生み出すこと



「平成27年度 国土交通白書」より千葉県が作成

【お問合せ先】 千葉県 県土整備部 県土整備政策課 政策室

電話：043-223-3121

Mail：kendo2@mz.pref.chiba.lg.jp